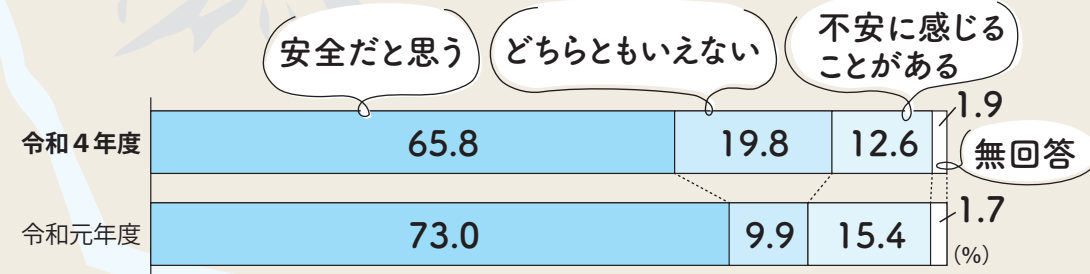


# Topic 1

## 水道水の安全性について 約66%の人が安全だと感じています



### ～水道水の安全性を守っています～

#### 「令和5年度水質検査計画」を策定！

上下水道局では安全で良質な水道水を供給するために、水源から浄水場、給水栓(蛇口)に至るまで定期的に精度と信頼性の高い水質検査を行っています。水質検査計画は、検査項目、検査頻度、地点などを示した計画で、毎年度策定し、これに基づき水質検査を行います。

#### 水質基準はなんと51項目も！

水質基準は、人体への安全性を考えて定められた健康に関する31項目と、色、濁りなどの生活に使用することを考えて定められた性状に関する20項目の計51項目で構成されています。ミネラルウォーターの基準よりも厳しく、項目も多いんです。



#### 皆さまの街の給水栓で

これらの水質検査は、水源の種類や、配水された後の到達時間などから選定した市内11ヶ所の給水栓(蛇口)で行っています。また、1日1回以上の検査が義務付けられている、色や濁り、消毒の効果などは、市内20ヶ所の水質自動測定装置により毎日測定しています。



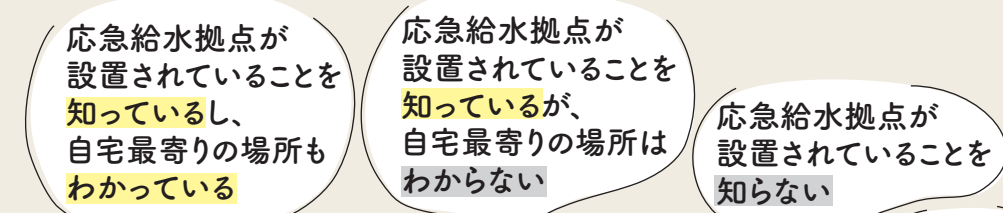
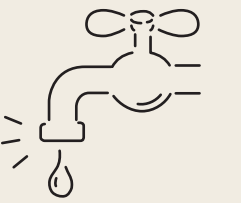
水質検査計画について  
くわしくはこちら↑

今回の調査では、「安全だと思う」という回答の割合が令和元年度から7.2%も減少しちゃいました！  
もっともっと安心してお水を使ってもらいたいから、**ばくたちがやっている取組をご紹介します！**



# Topic 2

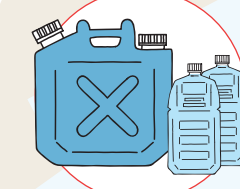
## 応急給水拠点について 約80%の人が自宅付近の応急給水拠点を知らないという結果に



応急給水拠点が設置されていることを知っているし、自宅最寄りの場所もわかっている  
応急給水拠点が設置されていることを知っているが、自宅最寄りの場所はわからない  
応急給水拠点が設置されていることを知らない

応急給水拠点は災害で断水が起きたときに大活躍するよ！  
いざというときに備えて、どこにあるかを確認しておこう！

Let's go!  
オウキュウキュウスイキョテン!!



#### これが必要！

応急給水拠点で給水を受けるときは、水を入れる容器(ポリタンクやペットボトル等)をご用意ください。水は重たいので、帰りのことを考え、キャリーケース等を使うのがおすすめです。



応急給水拠点について  
くわしくはこちら↑

### ～750メートルの安心～

#### 応急給水拠点って？

地震などの災害で、断水が起きたときに水をお配りする場所のことです。学校や公園など、市内254箇所(令和4年4月1日現在)に整備されていて、お住まいの場所から750メートル以内で給水を受けることができます。

#### 学校のどこにあるの？

校庭の地下に埋まっている貯水槽や、水飲み場から給水を受けられるよう整備を進めています。整備が完了した貯水槽や水飲み場の場所は、PR看板が目印！！



応急給水拠点の整備が完了した既設給水栓とPR看板

# 特集 市民の声 ～あなたに伝えたい、3つのTopics～

# Topic 3

## 下水の高度処理って知っていますか？ 知っている人の割合は約15%、 知りたい人の割合は約70%！



### ～きれいな川と東京湾を守るために～

多摩川や鶴見川の水質は、下水道が普及していなかった時代に比べ、下水処理場(水処理センター)の稼働により、格段よくなりました。それでも下水処理水が最終的に流れ込む東京湾では、下水処理水に含まれる窒素やリンなどによる富栄養化が進み、今でも赤潮などの被害が発生しています。東京湾の水質をさらに改善するため、東京湾流域の自治体が連携して、下水処理水から窒素やリンを除去する高度処理の導入を進めています。

**富栄養化**  
海水や川の水に含まれる窒素やリンなどの栄養分が、自然の状態より増えすぎてしまうこと。

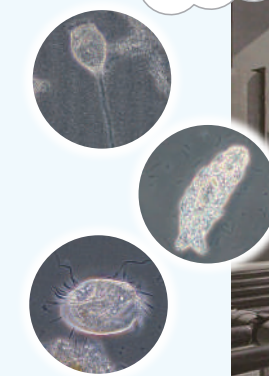
### 高度処理を進めています！ 入江崎水処理センター

水の汚れを分解してくれるのは、なんと目に見えない微生物たちです。汚れた水を処理する水槽(反応タンク)の中で、微生物は水の汚れと一緒に、赤潮の原因となる窒素やリンを分解します。

ただし、通常のやり方では、下水の汚れ以外に窒素やリンを一度にたくさん除去することができません。そこで入江崎水処理センターでは、微生物の働きを最大限に活用するために、空気を送らない水槽、たくさんの空気を送る水槽などに分け、水中の酸素の量をコントロールすることで、窒素とリンを大幅かつ同時に除去しています。また、高度処理を行うためには、通常よりも大きな処理施設が必要となりますが、担体と呼ばれる微生物の居場所を投入し、多くの微生物を住ませることで、処理に要する時間を短縮し、施設のコンパクト化を可能にしています。

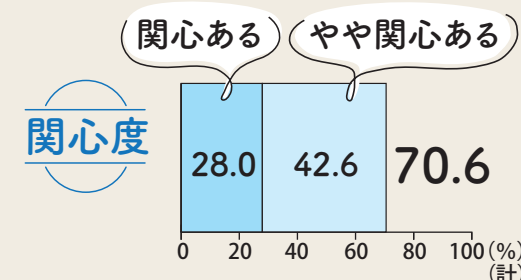
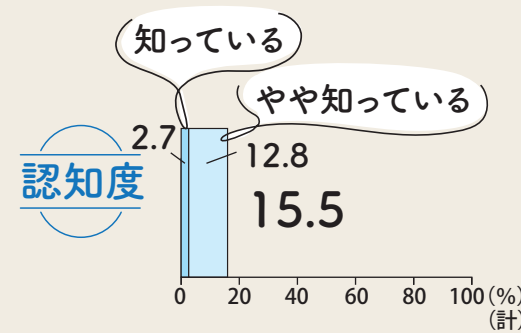
窒素やリンを同時除去する高度処理化、施設のコンパクト化を実現したスペシャルな下水処理場、それが入江崎水処理センターなのです。

微生物が大活躍するタンク！



こちらも注目！  
等々力水処理センター進化中↑

今年度実施の市民意識調査について  
くわしくはこちら↑



下水の高度処理って言われても、ピンとこないよわ？  
でもみんなの暮らしに深いつながりがあるんだ。  
みんなが関心を持ってくれてうれしいから、**どど〜んと紹介しちゃいます！**

